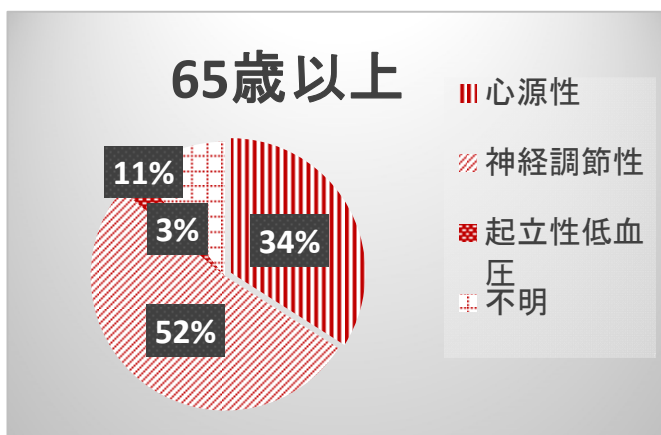


失神について

救急外来をしていると失神で受診する方が多いことに気づきます。失神とは一時的に意識がなくなりたおれませんが自然に意識の回復が見られることで、速やかに完全に回復するものをいいます。これは一時的に(6-8秒間)脳循環が中断されたり 血圧が60mmHg以下に下がった時に見られます。

その原因は年齢によって異なり、高齢者だと半分は神経調節性(反射性)や起立性などあまり命にかかわらないものですが、3割程度は心臓疾患によるもので、若い人より多く見られます。



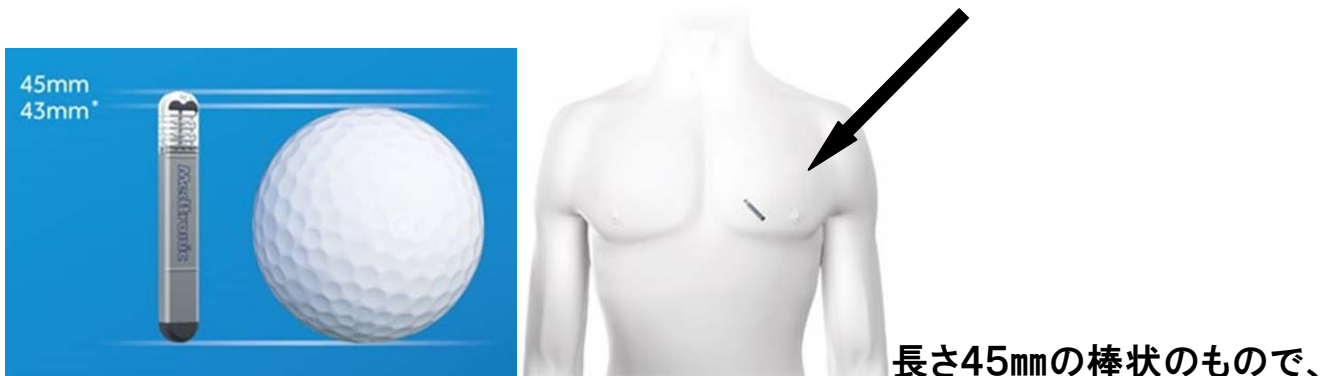
起立性とは立ちくらみですね。

急に立った時だけでなく立ってしばらくした後や食後、運動後にもみられます。入浴後や脱水の時などに出やすくなります。

神経調節性(反射性)とはどういうものでしょう。血管を拡張・収縮させたり脈を早くしたり遅くしたりする自律神経が、一過性にうまく働かなくなることにより予期せぬ血圧低下や徐脈をきたすことによっておこる失神です。朝礼で長時間立っている時や痛いのがまんしている時などにおこす失神ですが、不眠、疲労、精神的ストレスなど

の環境要因も誘因となります。そのほか排便や排尿の後におこる失神や食物を飲み込んだ時に起こる嚥下性失神なども自律神経のバランスが問題で起こります。ただ、これらの反射性失神は失神前にその予感や予兆があるため、その場でしゃがんだり横になったりすることで失神を防ぐことができ、生命予後にかかわらないといわれています。

それに対して心臓失神は、心臓に病気があるため脈が止まったり 逆に脈が速すぎて血圧が下がったりすることで起こる失神で、一過性ではありますが繰り返すうちに死に至る大きな発作が起こります。24 時間心電図をしても失神の原因がはっきりしない場合には心電図を 3 年間取り続けることができる植え込み型のループレコーダーを皮下に埋め込むことで診断ができるようになりました。



長さ45mmの棒状のもので、左前胸部の皮下に植込む心電図記録装置です。皮膚を 5 ミリ切って皮下に埋め込むので、心臓の中に入れるペースメーカーとは異なります。不整脈を感知すると記録し、病院へ自動送信ができる機能もあるため、何もなければ受診することはありません。失神を繰り返す方で原因がはっきりしない場合には、循環器内科にご相談ください。当院では一泊入院で植え込み手術を行っています。